

学習評価の進め方ワークシート（国語）

【「学習評価の進め方ワークシート」の使い方】

学習指導要領の改訂に伴い、評価の観点が増え、整理されたことに加え、単元や内容のまとまりにおける評価が一層重視されるようになったことで、学校現場ではどのように生徒を評価したらよいか迷われている先生方もいらっしゃると思います。

そこで、具体的に単元の評価規準を作成したり指導計画を立てたりすることで、新しい評価における理解を深めていただくことを目的とした「学習評価の進め方ワークシート」を作成しました。

右に示した「新学習指導要領における学習評価の在り方」の資料や文部科学省国立教育政策研究所から公表された「※指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料等を基に、以下のワークシートの手順に従い、一単元の評価を実施してみてください。

※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidouairyou.html>)国立教育政策研究所

中学校国語

新学習指導要領における学習評価の在り方

① 単元における学習評価の進め方
単元における観点別学習状況の評価を実施するに当たり、以下のように進めることが考えられる。

| | | |
|---|-----------------|--|
| 1 | 単元の目標を作成する | ①については、学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説、生徒の実態、前単元までの学習状況等を踏まえる。 |
| 2 | 単元の評価規準を作成する | ②については、①を踏まえ、評価場面や評価方法を計画する。どのような評価資料を基に、「おおむね満足できる」状況(B)と評価するかを考えたり、「努力を要する」状況(C)への手立て等を考えたりする。 |
| 3 | 「指導と評価の計画」を作成する | ③に沿って観点別学習状況の評価を行い、生徒の学習改善や教師の指導改善につなげる。 |
| 4 | 観点ごとに総括する | ④については、集めた評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的评价(A、B、C)を行う。 |

② 国語科における学習評価の進め方

Step 1 単元で取り上げる**指導事項**の確認
Step 2 単元の**目標と言語活動**の設定
Step 3 単元の**評価規準**の設定
Step 4 単元の**指導と評価の計画**の決定
Step 5 **評価の実際と手立て**の想定

国語科の評価は5つのStepで!

Point!

単元の目標は「内容のまとまり」ごとに設定し、[学びに向かう力、人間性等]は、当該学年の学年の目標から設定する。評価の観点は「主体的に学習に取り組む態度」となる。

③ 主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の作成方法
国語科においては、「内容のまとまりごとの評価規準」が単元の評価規準となることを踏まえて、単元で育成

()年 単元名 ()

1 単元の目標を作成する

<単元の目標> 学習指導要領解説を基に、単元の目標を作成しましょう。

Step 1: 指導事項を確認する。(学習指導要領から該当する単元の記載内容を抜き出しましょう。)

Step 2: 単元の目標と言語活動を設定する。(文末を「～すること」から「～できる」「～しようとする」にしましょう。)

| 知識及び技能 | 思考力、判断力、表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 |
|--------|--------------|--------------|
| | | |

単元で取り上げる言語活動

具体的な言語活動

2 単元の評価規準を作成する

<単元の評価規準> **Step 3:** 各教科の「新学習指導要領における学習評価の在り方」を基に評価規準を作成しましょう。

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------|----------|---------------|
| | | |

主体的に学習に取り組む態度は、評価規準作成のポイント4点を組み合わせて作成しましょう!



3 「指導と評価の計画」を作成する

評価規準の内容を最も評価できる場面で、適切な評価方法を考えましょう。また、枠が足りないときは、同様の形式を作成して、なるべく詳しい計画を立ててみましょう。



<指導と評価の計画> Step4: 各教科の「新学習指導要領における学習評価の在り方」を基に計画を作成しましょう。

| 時 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価規準・評価方法等 |
|---|------|---------|------------|
| | | | |

授業を行う

Step5



生徒への学習状況のフィードバックや授業改善に生かす機能を一層充実させることが大切です。

4 観点ごとに総括する

評価の観点ごとの総括及び評定への総括の考え方や方法について、教師間で共通理解を図り、生徒や保護者に説明し理解を得ましょう。



(例1) 評価結果のA、B、Cを数値に置き換えて総括する場合

| | | |
|----|----|----|
| A | B | C |
| 3点 | 2点 | 1点 |

総括の結果をBとする範囲を $[2.5 \geq \text{平均値} \geq 1.5]$ とする。

| 学習活動 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 総括 | 単元の評価 |
|---------------|---|---|---|---|---|---|----|-------|
| 知識・技能 | | | | | | | | |
| 思考・判断・表現 | | | | | | | | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | | | | | | | |

(例2) 評価の結果のA、B、Cの数を基に総括する場合

「A、B」のように数が同数の場合や「A、B、C」のように混在する場合は、あらかじめ総括の仕方を決めておく必要があります。

| 学習活動 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 単元の評価 |
|---------------|---|---|---|---|---|---|-------|
| 知識・技能 | | | | | | | |
| 思考・判断・表現 | | | | | | | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | | | | | | | |